

2019年11月19日
東日本旅客鉄道株式会社
東京支社

東京駅での危険物探知犬に関する実証実験に協力します

JR東日本では、国土交通省が募集した危険物の旅客スクリーニングの実証実験に関して、企画提案が採択されたセントラル警備保障株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役執行役員社長：澤本尚志）とともに、東京駅において危険物探知犬を活用した実証実験に協力します。お客さまのご理解・ご協力をお願いいたします。

1 実験日時

2019年12月4日（水） 13:00～16:00

2 実験場所

東京駅 新幹線北のりかえ口および南のりかえ口付近

3 関係者

実施者：国土交通省

調査受託者：セントラル警備保障株式会社

協力者：全日本犬訓練士連合協会、東日本旅客鉄道株式会社、
東海旅客鉄道株式会社 等

4 危険物探知犬（別紙）

ビーグル（小型）、ラブラドル・レトリバー（大型）

5 実験方法（別紙）

危険物探知犬（ハンドラーおよび警備員が随行）が、東京駅新幹線北のりかえ口および南のりかえ口付近を巡回しながら、もしくは並ばれているお客さまに対して、危険物探知を行います。

また、お客さまにアンケートへの協力をお願いする場合があります。

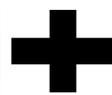
危険物探知犬



ビーグル
(小型)



ラブラドル・レトリバー
(大型)



- ・ハンドラー
- ・警備員

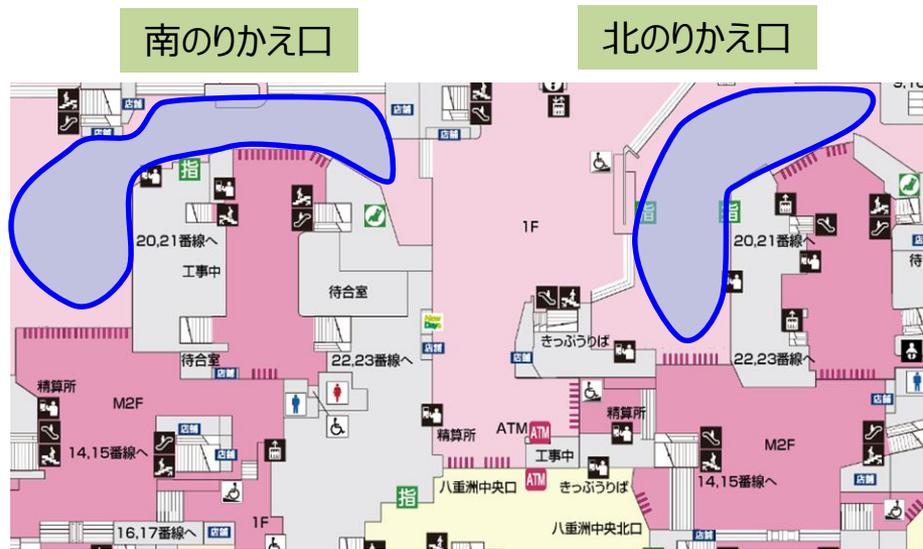
【お客さま流動調査】

- ・探知犬が活動することにより、対象エリア等のお客さま流動影響
- ・お客さまの歩行行動に与える影響

【意識調査】

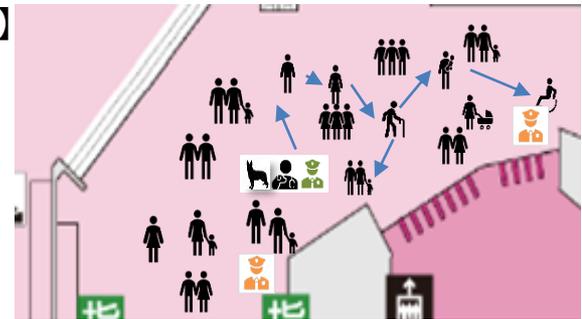
- ・実証実験を体験された方や見学された方等へ、探知犬が活動することへの意識調査
- ・現地調査およびWeb調査

東京駅（新幹線）



探知犬の活動エリア（イメージ）

【検知例1】



※ 探知犬が巡回しながら危険物を検索

【検知例2】



※ 探知犬がお客さまの徒列を巡回して危険物を検索